調査結果の概要

（１）愛知県の観光で楽しみにしていたこと【複数回答】

「グルメ・日本食」が69.5％と最も多く、前年度の69.9％と同水準となりました。なお、次いで「ショッピング」が53.3％（前年度60.3％）、「歴史的建造物・町並み探訪」が43.8％（同37.1％）となっています。

（２）愛知県での訪問先（観光地）【複数回答】

「名古屋城」が 56.2％（前年度 50.4％）で最も多く、次いで「名古屋駅周辺」54.7％（同61.8％）、「栄周辺」42.3％・「大須商店街・大須観音」30.5％（前年度「栄、大須周辺」53.0％）となっています。

「名古屋城」「名古屋駅周辺」「栄周辺」は、継続して訪問者数の多い主要な観光エリアとなっています。

（３）旅行形態・情報収集時の利用ツール

旅行形態は、自分で航空券・宿泊等を手配する「個人旅行」が 83.0％（前年度77.7％）、「団体旅行（グループツアー）」が10.6％（同17.7％）となりました。（表１）

また、情報収集時の利用ツール（複数回答）は、「Instagram」や「動画サイト（YouTube、抖音（ドウイン）等）」、「口コミサイト（トリップアドバイザー等）」などの回答の割合が増加しており、インターネット以外では「観光案内所」や「旅行会社パンフレット」などの回答の割合が減少しました。（表２）

＜表１＞旅行形態（抜粋）

	2024年度	2025年度
個人旅行（自分で航空券・宿泊等を手配）	77.7％	83.0％
団体旅行（グループツアー）	17.7％	10.6％
個人旅行（パッケージツアー利用）	3.6％	4.9％

＜表２＞情報収集時の利用ツール【複数回答】（抜粋）

	2024年度	2025年度
Instagram	20.8％	27.3％
動画サイト（YouTube、抖音等）	21.7％	25.0％
口コミサイト（トリップアドバイザー等）	9.9％	15.9％
観光案内所	6.5％	4.1％
旅行会社パンフレット	4.7％	2.3％

（４）愛知県の観光で満足した点【複数回答】

「交通アクセスの便が良い」が 63.5%（前年度 58.7%）と最も多く、次いで「観光施設・交通機関等の案内表示がわかりやすい」が 46.6%（同 40.2%）、「「食」の面で魅力がある」が 43.5%（同 45.8%）となっています。

（５）愛知県の観光で不満に感じた点【複数回答】

「不満はない」が 56.1%と最も多くなっており、前年度の 48.5%よりも増加しました。

一方、不満を感じた点で回答が多かった上位５項目を比較すると、前回（2024 年度）の上位項目は概ね継続して挙げられたものの、その割合は減少しました。「観光施設・交通機関等の案内表示がわかりにくい」が 5.3%と、前回（3.9%）よりも増加しました。

	2024 年度		2025 年度	
１位	コミュニケーションが取りづらい	12.1%	コミュニケーションが取りづらい	9.2%
２位	夜間に楽しめる場所が少ない	8.3%	観光施設・交通機関等の案内表示がわかりにくい	5.3%
３位	通訳ガイドが充実していない	6.3%	夜間に楽しめる場所が少ない	5.2%
４位	フリーWi-Fi スポットが少ない	4.8%	フリーWi-Fi スポットが少ない	4.3%
５位	交通アクセスの便が悪い	4.0%	通訳ガイドが充実していない	4.0%

（６）満足度・再来訪意向

愛知県での観光の満足度は、「非常に満足」が 55.4%（前年度 51.4%）、「満足」が 42.3%（同 46.4%）となっており、「非常に満足」との回答が増加しました。

また、愛知県への再来訪意向も、「また来たい」が 90.9%（同 92.8%）と圧倒的に多くなっています。

【参考１】調査場所の拡大について

2025 年度は、中部国際空港に加え、名古屋城、愛・地球博記念公園でも調査を実施しました。

回答者の「国・地域」はアジアが 71.5%（前年度 93.8%）と引き続き全体の多くを占めていますが、「欧州」13.4%（前年度 1.7%）、「米州」7.5%（同 1.7%）、「豪州」3.5%（前年度は回答数が少数のため「その他」に含む。）と欧米豪地域の旅行者の回答割合が増加しました。

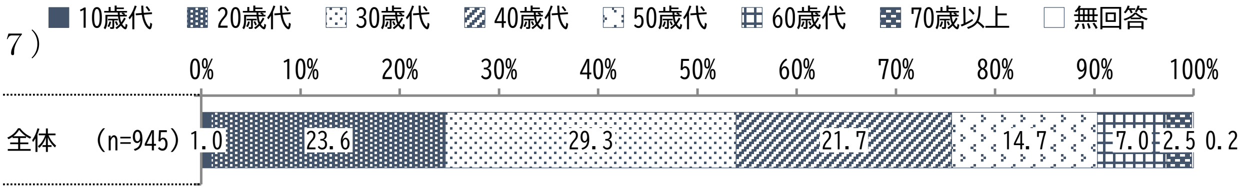
これにより、今回の調査では、国・地域の隔たりなく、本県を訪れる訪日外客全体の動向をより多角的に把握できる結果となりました。

【参考２】調査した外国人旅行者の属性

（１）国・地域

	2024 年度		2025 年度	
	人数	割合	人数	割合
中国	243 人	23.1%	152 人	16.1%
台湾	202 人	19.2%	150 人	15.9%
香港	122 人	11.6%	113 人	12.0%
韓国	270 人	25.6%	146 人	15.4%
タイ	68 人	6.5%	48 人	5.1%
米州	18 人	1.7%	71 人	7.5%
欧州	18 人	1.7%	127 人	13.4%
東南アジア	83 人	7.9%	67 人	7.1%
豪州	—	—	33 人	3.5%
その他	29 人	2.8%	38 人	4.0%
合計	1,053 人	100%	945 人	100%

※豪州は 2024 年度調査では「その他」として集計。割合の合計は端数処理により 100%にならない。

（２）年齢

（７）